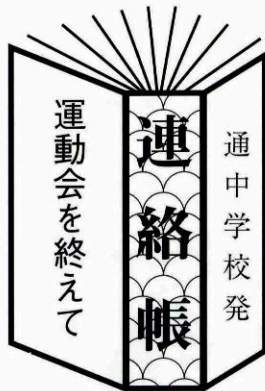




山下 祐子さん  
2年(通16区)

9月8日、運動会当日。胸に期待と不安をもちながら行進しました。なにしろ1週間という短期間の練習だったので、練習通りにできるかどうかとても不安でした。でも、いろいろな種目に挑戦していくうちにだんだん自信ができました。

特に、全校生徒104人で行った組立て体操は、手足が痛くなったり力が抜けそうになったりしたけど、歯をくいしばって最後までやりきることができました。そして応援合戦。先輩から教



通中学校発

運動会を終えて

えてもらったことのすべてを發揮し、一生懸命アピールしました。お客さんが喜んでくれたときは、本当にうれしくてたまりませんでした。

こんなすばらしい運動会ができたのも、みんなが心を一つにして協力したからだと思います。私達が3年生になったら今回以上の運動会になるように、頑張りたいと思います。



「高等科を卒業後、すぐ郵便局に就職し電報を打つ仕事に就きました。主人が広島で警察官の試験を受けたんですが、電報で打った家族への合格の知らせを、俵山の郵便局で受けたのが私だったんですよ」と当時を振り返る。

30歳過ぎ、主人の仕事の関係で台湾へ渡り、終戦後帰ってきてから農業を始めた。「水害で荒れはてた農地を、主人と子どもが何日もかけて田に作り上げてくれました。そのため、長男にはあまり学校にも行かせてやれませんでした」と。「私は体が丈夫ではなく、あまり手伝えませんでした。田植えの時、きつくて休んでいて主人に叱られたこともありましたが」と笑う。当時は食べる物にも着る物にも事欠く時代で、着物や帯をほどこい

### ふるさとながと ③1

## こんにちは



早川 晃源 さん  
(草津市野路町)

### 私や友を育てた長門

略歴

昭和49年通で生まれる。大津高校卒業後、立命館大学理工学部情報工学科に入学。現在同大学4回生。来年同大学院理工学研究科博士課程前期課程に入学が決定。Computer Visionの分野を専攻。

大津高校を卒業して早3年が過ぎ、大学生活も4年目を迎えました。年2回は必ず家に帰る私にとって、長門の変化は目まぐるしく、また、その変化に驚きと少々の寂しさを感じています。

私の高校時代は勉強と部活の2色でした。(私の高校時代を知っている人はウンだと思いでしようが、とりあえず、そういうことにおいてください)陸上部に所属していた私は、中・長距離を専門に走っていました。たいした記録は残せないままで引退しましたが、私にとっては大変大きな糧となりました。レース前のイメージトレーニングは、めでたい奴と言われるほどのプラス指向を、レース中の精神的苦痛は、しぶとい奴と言われるほどのタフさを私に



高校時代陸上部の仲間と(上段左から2番目)